



news release

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 [URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2025年5月26日

報道関係各位

第67回北大祭にて「ペットボトル資源循環リサイクル」を実施 ～「ボトル to ボトル」による PET ボトルの循環利用を推進します～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、北海道大学 大学祭全学実行委員会（委員長：赤井祐太）と昨年に引き続き、例年 10 万人が訪れる日本最大規模の大学祭である第67回北大祭にて排出されるPETボトルの資源循環型リサイクルを実施することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進とともに、多くの来場者に循環リサイクルの周知の機会を創出します。

【ボトルtoボトル実施期間】

日時：2025年6月6日（金）～6月8日（日）※第67回北大祭開催期間

場所：北海道大学札幌キャンパス ※回収ボックスは場内に掲示

■「ボトルtoボトル」水平リサイクルの流れ



本事業は、使用済みPETボトルを新たなPETボトルに再生する、水平リサイクル※「ボトル to ボトル」を実施するもので、第67回北大祭で回収した使用済み PET ボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て、再原料化いたします。本事業にて再生された PET 原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用いたします。

当社は「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび当社と北海道大学大学祭全学実行委員会は、来場者・事業者・主催者の三者が一体となり、北海道内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

※使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部 担当：佐々木

お問合せフォーム：<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/form/>



<お問合せフォーム>



<リサイクル訴求ロゴ>

〈参考資料〉

■ コカ・コーラシステムの取り組み

日本のコカ・コーラシステムでは、2020年3月に「い・ろ・は・す 天然水」、2021年3月に「コカ・コーラ」で100%リサイクルPETボトル[※]を導入しています。これは、回収したPETボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て再原料化して、それらを製造・販売するコカ・コーラ社製品の新たなPETボトルに再生する「ボトルtoボトル」水平リサイクルと呼ばれる事業で、PETボトルは資源として何度も循環可能であるため、石油由来の原料から製造されるPETボトルに比べてCO₂排出量を削減することができます。

コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進による100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。

※ 『ボトルtoボトル』によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材

■ 当社の水平リサイクル推進の取り組み

・自治体と協働でペットボトル資源循環型リサイクルを推進いたします

当社は自治体とその住民・事業者の三者が一体となって、道内におけるPETボトルの循環利用への貢献を深めるため、2023年9月に上士幌町、2024年3月に岩見沢市、2024年11月には江別市と「ペットボトル資源循環型リサイクルに関する事業連携協定」を締結しました。自治体が回収する使用済みPETボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て再原料化し、それらを当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の新たなPETボトルに再生します。



上士幌町



岩見沢市



江別市

・公益財団法人アイヌ民族文化財団と「ペットボトル資源循環の協働事業」

公益財団法人アイヌ民族文化財団が管理・運営する「ウボポイ（民族共生象徴空間）」がアイヌ文化の復興・発展及び国民理解促進の拠点であり、国内外から多くの方々が集まることが期待されていることから、来場する多様な世代に対してリサイクルに対する意識を高めるとともに、「ボトルtoボトル」の促進に向けた事業として2020年9月より取り組んでいます。

同施設に、空容器回収ボックス「リバースベンディングマシン」を設置し、「ボトルtoボトル」のリサイクルを行うほか、回収した空容器1本につき1円がアイヌ民族文化財団へ寄附され、アイヌ文化の振興に役立てられています。

